

# 自動ゲル抽出装置Blue Pippinの操作概略

2020.2.21 Ver1.7

使用環境： 性能維持のため、ご使用時の室温は17℃～22℃をお願いします。

Software Rev.6.40-CD33

**\* 詳細な操作方法およびトラブルシュートは、取扱説明書をご確認ください。**

操作順	操作	別紙 注意点項目
1	<p>Sage Science社 Blue Pippinの起動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OAタップの電源ON</li> <li>・本体背面の起動スイッチON</li> </ul> <p>→ソフトウェアの起動</p>  	
2	<p>プログラム設定 (詳細は別紙参照)</p> 	
3	<p>LEDキャリブレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリブレーションフィクスチャーのフィルム側を下にしてセットする</li> <li>・本体のフタを閉め、画面下部「CALIBRATE」をクリック</li> <li>⇒新たに立ち上がるウィンドウの「CARIBRATE」をクリック</li> <li>⇒Caribration OKを確認する</li> </ul> <p>* 動作中は本体のフタを開けないこと！</p>  	
4	<p>カセット開封</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッファーが満たされていること、</li> <li>・流路およびゲルがひび割れていないことの確認</li> <li>・各レーンに気泡が無いことを確認</li> </ul> 	<p>*01 *02 *03</p>
5	<p>カセットを本体にセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シールを剥がす前に、溶出チャンネル内のバッファー中の気泡を抜く</li> <li>(セットする際、溶出チャンネル側を高くし、溶出チャンネル内の気泡を逃がす)</li> </ul>  	<p>*04</p>
6	<p>カセットのシールを剥がす</p> 	
7	<p>カセットの溶出ウェルからバッファーを全量抜く</p> <p>溶出ウェルに新しいバッファーを40uL入れる</p> <p>サンプルウェルをバッファーで完全に満たす</p>  	<p>*05</p>

8	<p>通電チェック 画面中央下段にある「TEST」ボタンをクリック PASSが出ることを確認する FAILの場合、再度通電チェックを行う</p> <p>【TEST結果】</p> <div>     </div>	*06
9	<p>サンプル調製 (サンプル30uL+ローディングバッファー10uL) サンプルウェルからバッファーを40uL抜く</p>	*07
10	<p>9で調整したサンプルとマーカーを各レーン40uLロードする 溶出ウェルを、カセット付属のシールで塞ぐ</p>	*08
11	<p>泳動 約30-480分</p> <p>* カセットの種類と抽出条件により、 泳動時間は異なります</p>	
12	<p>泳動終了の確認 1) Elution Timerに溶出時間が記録されている 2) Separate (緑) または Elute (オレンジ) の ランプが点灯していない</p> <p>* プログレスバーはプロトコルで設定された 最長泳動時間に対する経過時間表示 (%) のため、 100%未満でもRunが終了となる場合があります</p>	 
13	<p>溶出ウェルからDNA回収</p> <p>* 溶出ウェル内の溶液が溢れないようご注意ください * Run終了後1~2時間以内にサンプルを回収ください</p>	
14	<p>泳動終了後、カセットを取り出す 蒸留水を入れたリンスカセットをセットし、約1分間フタを閉じて、電極を洗浄・脱塩する 洗浄・脱塩終了後、リンスカセットを取り出す</p>	*12
15	<p>画面下段にある 「SHUTDOWN」ボタンをクリック 画面が消えたら、OAタップの電源OFF</p>	 